

静岡市第3次静岡市地球温暖化対策実行計画(案)パブリックコメントの結果【自由記載欄の集計表】

<集計表の主旨>

自由記載欄にご意見をいただいた方について、市の考え方を示しました。

<意見の取り扱いについての分類>

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| A: 計画に盛り込み済 | …計画に既に盛り込み済みである意見 |
| B: 計画に反映する | …その主旨を計画に新たに反映する意見 |
| C: 今後の取組の参考 | …計画には反映しないが、今後の参考取組の参考とする意見 |
| D: その他 | …上記取扱い以外の意見 |

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A: 計画に盛り込み済	B: 計画に反映する	C: 今後の取組の参考	D: その他
1	その他	計画全体		この計画自体の重要性は理解できるが、それに取り組むだけの地盤が整っていないと感じるため。他のやることができたら取り組んでほしい。	本計画で目指す「脱炭素社会の実現」は、地方創生やまちづくりにも繋がるものであり、本市の総合計画においても各分野に関係する横断的視点として位置付けられています。また、地球温暖化対策は多岐に渡ることから、他の施策とともに推進していく必要があると考えています。				○
2	その他	計画全体		家電や住宅など、新しいものは高性能で環境にも優しいのかもしれないが、その分手が出しにくい。すでにある製品の方に人が流れていかないかが心配だ。	環境性能に加え、初期投資のみならずランニングコストも含めて省エネ性能が高い住宅や家電製品を導入することのメリットをご理解いただけるよう、公民連携により情報発信の強化を図っていきます。また、市民に向けてはZEHやFCVの導入支援、中小企業に対しては省エネ設備やPPAの導入支援を行っているところであり、新しい技術やサービスの導入に合わせての拡充も検討していきます。				○
3	その他	取組への疑義・反対意見		各対策に具体例が存在し、わかりやすかった。しかし、例として出てくるのは最先端技術を用いたものが多く、また、聞き慣れないものも多い。うまく普及するのか気になった。	市民・事業者への普及が進むよう、情報発信や環境整備等に努めてまいります。			○	
4	取組の提案	個別事業等への提案		継続的に蓄電池の補助をしていただきたい。	いただいたご意見を参考とし、必要な支援策について検討してまいります。			○	
5	取組の提案	個別事業等への提案	事務事業編	公共施設の脱炭素化を推進していただきたい。	本計画において、公共施設への再生可能エネルギー設備の導入拡大や消費電力をRE100にしていこうことを謳っております。計画に記載する取組を推進していきます。	○			
6	取組への期待	取組への期待		公共交通機関の積極利用推進や新しい移動サービスの事例など、具体的かつ身近な視点に基づく提言が成されていて、市内で暮らす市民に寄り添った政策提言ができている。	ご意見ありがとうございます。市民の利便性等の向上など、市民の皆さんに受け入れられる温暖化対策の推進も目指してまいります。				○

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
7	取組の提案	個別事業等への提案	適応策編	災害にも強い政策提言を今後はなお施してほしい。今年に入り、清水地区においては台風被害が深刻なものとなったが、ここでも気候変動や農作物への悪影響など、環境に関連する問題は多いと思っている。あのような大きな被害を未然に防ぐためにも、「ハザードマップ」よろしく、市内で被害が特に出そうな場所をピックアップして、計画書上で示すことも、市民向けの提言としては必要不可欠だと感じる。	適応策編において、「各種ハザードマップの作成・公表」を取組として掲載しています。国土強靱化計画に基づく各種事業を実施するなど、災害に強いまちづくりを推進してまいります。	○		○	
8	計画全体	計画全体		何をどうすると実現可能なのかということをもっと具体的に提起したほうがイメージが湧くと思われれます。脱炭素ライフスタイルへの変革のスライドは分かりやすい。	いただいたご意見を参考とし、計画の取組の推進にあたっては、市民の皆さんに理解いただけるよう周知を図ります。			○	
9	計画全体	計画全体		より具体的な事例、期待できる効果を示して欲しい。	いただいたご意見を参考に、市民・事業者の意識向上・行動変容につながるよう、成功事例を横展開するなど、情報発信に努めてまいります。			○	
10	進捗指標	目標数値への意見	計画全体	2030年目標だとあまりイメージがわからない。もう少し短い期間に区切り、目標値を示してもらいたい。また、定期的に進捗情報・実績値を報告して欲しい。	削減目標に中間目標を設定するほか、毎年度実績報告を公表します。		○		
11	取組の提案	個別事業等への提案		設備導入の際の補助の充実、申請書類の簡易化をお願いしたい。	いただいたご意見を参考とし、必要な支援策や申請手続について検討してまいります。			○	
12	計画全体	計画全体		地球温暖化が待たなしのところにきており、地球の未来を守るためには、一人一人の行動が大きなカギを握る。	市民の皆さんの意識向上・行動変容に繋がるよう、計画を着実に推進してまいります。				○
13	計画全体	計画全体		温暖化防止に大きく寄与した個人や団体を表彰する(個人の場合は、世代別で取り組みレベルを変えたりなど)など、温暖化防止の行動を促し社会の機運を盛り上げる。	いただいたご意見を参考とし、市民・事業者の意識向上や行動変容に繋がる取組を推進していきます。			○	
14	取組への期待	取組への期待	取組方針4	吸収源対策が進むことを期待します。	計画において、森林整備や緑化の推進等による吸収源対策の推進を図っていくこととしています。また、ブルーカーボンやDACの取組など、新たな事業の展開も推進していきます。	○			
15	計画全体	計画全体		取組方針や目標数値なども明記があり、まとまっていたため。ただ一般人にとっては内容が難しいと感じました。	いただいたご意見を参考とし、計画の推進に合わせ、市民の皆さんに理解いただけるよう周知を図ります。			○	
16	取組の提案	個別事業等への提案		毎日のように地球温暖化についてニュースが流れているが、まだ自分ごととして捉えられていないのが現状。将来のリスクが遠い未来のことではないことを伝え、市民・企業などそれぞれの立場で何をしたら良いか具体例を分かりやすく発信することが大切だと思います。	いただいたご意見を参考とし、市民・事業者の意識向上や行動変容に繋がるよう、情報発信や普及啓発に努めます。			○	

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
17	取組の提案	個別事業等への提案	リーディングプロジェクト	啓発も続けながら、目に見える脱炭素先行地域としての取り組み(太陽光パネルが街中に設置されたり、公共交通機関の再エネ化等、市民や市外から訪れた人が環境に優しい街だとすぐに実感できるもの)を実施してほしいです。	計画において、リーディングプロジェクトとして脱炭素先行地域の整備促進を掲げています。先行地域の取組を市内、市外へ横展開も視野に、先行地域における取組の進捗に合わせての情報発信に努めてまいります。	○			
18	取組の提案	個別事業等への提案		防災(地震台風災害やゲリラ豪雨など)は市民にも身近な問題なので、防災面から適応策へのアプローチをすることも良いかと思えます。	適応策編では、ハザードマップの作成等のソフト面も含め、国土強靱化に取り組むこととしています。また、いただいたご意見を参考とし、市民・事業者の意識向上や行動変容に繋がるよう、情報発信や普及啓発に努めます。			○	
19	取組への期待	取組への期待	計画全体	再生可能エネルギーやエネルギーの高度利用化に期待します。	「再生可能エネルギーの拡大」「エネルギーの高度利用化」は計画の取組方針であり、着実に推進してまいります。	○			
20	その他	取組への疑義・反対意見		設備導入に関しての援助が少なく、昨年の水害の後処理などを先にする方が良いと思う。	いただいたご意見を参考とし、必要な支援策について検討してまいります。また、地球温暖化対策は喫緊の課題であるため、計画の取組の着実な推進に努めてまいります。				○
21	取組の提案	個別事業等への提案	リーディングプロジェクト	政令市として、静岡市発の新たな取り組みを一つでも行っていただきたい。	計画では、本市の特性や地域資源を活かして進めていく取組として、リーディングプロジェクトを掲げています。脱炭素先行地域やグリーン水素の利活用促進、グリーン産業の創出など、静岡市発として市内外に横展開できるような取組を推進していきます。	○		○	
22	計画全体	計画全体		「環境」だけに前のめりになるのではなく、「経済」とバランスのとれた取組が重要だと考える中、本計画はそれを基本方針として示している。	環境のみならず、経済、社会の三側面の好循環を生み出せるよう、計画の取組の着実な推進に努めてまいります。				○
23	取組への期待	取組への期待		本計画はコンテンツ毎の整理が良くなされており、行政の取組内容についても非常に分かり易く示されている。また、行政、市民、事業者それぞれの役割が明確になっていて、計画、そして実践への流れが期待できる。	ご意見ありがとうございます。市民・事業者・行政が各々の役割を果たしつつ、連携しながら取組を進めてまいります。				○
24	取組への期待	取組への期待		脱炭素先行地域の着実な整備など、新たな指標を追加したこと(第2次から第3次への加速感がある)。各主体(市民・事業者・行政)の取組が明文化されている。	第3次計画では、第2次計画から削減目標が大きく引き上げられていることから、脱炭素化に向けた取組を加速させていく必要があります。市民・事業者・行政が各々の役割を果たしつつ、連携しながら取組を進めてまいります。				○
25	計画全体	個別事業等への提案		清水港のCNポート化を推進していくべき。	リーディングプロジェクトの「グリーン水素の利活用促進」において、清水港のCNポート化の推進について記載します。		○		

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
26	取組の提案	個別事業等への提案		中小企業ではコストをかけてまで脱炭素に取り組めていないのが現状。「まだ使える設備」をより生産効率が高く、GHG排出量の少ない設備に切り替えるにあたって、補助金等の資金面でサポートは必要不可欠。補助金の新設・拡充を希望します。	いただいたご意見を参考とし、必要な支援策について検討してまいります。			○	
27	掲載文の修正等	個別文言への意見		<p>・概要より、「また、IPCCが2018年10月に公表した「1.5℃特別報告書」は、気温上昇を1.5℃に抑えるためには、温室効果ガス排出量を2030年までに2010年比45%削減、2050年前後に実質ゼロにしていくことが必要としています。」</p> <p>—ここでは、パリ協定の当時の「2℃目標」と比べて1.5℃でなければならない理由が述べられるべきです。 以下のようになるでしょうか。 『ティッピング・ポイントと呼ばれるいくつかの危機的な要素の「転換点」が1.5℃と2℃の間であるリスクが高いことが指摘されたこと、この転換点を過ぎて昇温してしまった後には変化が変化を呼び不可逆的になり、あとになってからは戻れなくなる可能性があるということから、より厳しい1.5℃目標が必要とされました。 この科学的な知見を受けて更にCOP26グラスゴー合意では1.5℃目標が正式な目標として掲げ直されました。 そしてCMIP6の気候モデル相互比較検証によると、排出削減シナリオの多寡に依らず2030年には概ね1.5℃上昇をしてしまうと予測されています。この時点で半減すら出来ていないと、1.5℃での安定化は絶望的な状況に陥ります。すべての化石燃料使用を半減した後で、先になればエッセンシャルな需要を直ちに止めるという劇的な転換をしなければならなくなります。』 過去作成してきたような計画の文言の延長では、この対応計画は達成不可能と言わざるを得ません。 もしかすると、ギブアップ宣言に変えるべきではないでしょうか？ 現在すでに「危機」に陥っていることを隠しては計画を作る意味がありません。</p>	本編P3<各作業部会の主な結論>表中の第2作業部会横に、ご意見の趣旨に通じる記載をしているところであり、また、市民の皆さんの読みやすさなどの観点から概要版の修正はいたしません。いただいたご意見は、情報発信や環境教育を推進していく際の参考といたします。			○	
28	進捗指標	取組方針・削減目標への提案		<p>削減目標</p> <p>51% → 『75%を目指して可能な限り大幅に削減することを目指す。』 理由: 上記のように非常事態だからです。そして元々51%削減を担保する政策は後段に入っていない以上、数値を嵩上げすることにより危機感を煽ることこそが重要なのだ、と判断すべきものと考えます。</p>	目標を46%とする(県は46.6%)国や県とも連携して施策を進めていくことや、実現可能性等も考慮し、目標は変更しないこととします。				○
29	取組への期待	取組への期待		概要版2ページの「●経済と環境が両立した・・・」にあるように、GHG排出量削減にとどまらず、地域課題解決・地域振興・防災強化などまちづくりそのものに脱炭素の視点を加える、という姿勢がとても良いと思います。	脱炭素社会の実現に向けては、単に温室効果ガスの排出量削減にとどめるのではなく、地方創生の取組として地域課題の解決や地域資源の有効活用など、環境、経済、社会の統合的向上を目指していきます。				○
30	掲載文の修正等	目標数値への意見		2030年までの適応策認知度目標40%というのはまだ低い(災害・熱中症等の対策は急務のため)ので、UPを希望します。	いただいたご意見を参考に、計画を推進していく中で目標値の上方修正について検討してまいります。			○	
31	取組への期待	取組への期待		定量的な目標を数値データを用いて根拠を持って掲げており、共感できる。また、それぞれの数値データで、分類毎のデータを詳細に示し、注力すべき分野を明らかにしており、実現可能性が高いと感じた。	目標を達成できるよう、計画の取組の着実な推進に努めてまいります。				○

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
32	取組の提案	個別事業等への提案		現在、カーボンニュートラルなど、欧州を起点とした世界的な潮流が生まれており、民間の意識を変える好機と感じる。一方で、早期に結果が出るものではないため、意識の醸成を着実に進め、掲げた目標の達成に向けた長期的な支援を期待します。	目標を達成できるよう、計画の取組の着実な推進に努めるとともに、市民の皆さんや企業の行動を引き出すための普及啓発に注力していくことに加え、必要な支援策について検討してまいります。			○	
33	取組の提案	個別事業等への提案	取組方針4	市内の再生可能エネルギーの発電量が半分くらい達成できていてよいと思う。あとは、緑を増やすことに力を入れるのが良いと思う。	計画の「取組方針4 気候変動への適応」において、「間伐や緑化など吸収源対策の強化」を取組内容として掲げています。計画を着実に推進してまいります。	○			
34	取組への期待	取組への期待		温室効果ガスを実質ゼロにしたり、環境への適応をしたりすることで悪いことはない。	目標を達成できるよう、計画の着実な推進に努めてまいります。				○
35	計画全体	計画全体		温室効果ガスの削減への意識を一般市民にもっと向けさせないとゼロは厳しいと考える。	いただいたご意見を参考とし、市民の皆さんの意識向上や行動変容に繋がるよう、情報発信や普及啓発に努めてまいります。				○
36	その他	取組への疑義・反対意見		取組はとても素晴らしいと思うし、ぜひ実行したいと思うが、温室効果ガス排出量を将来的にゼロに近づけることは難しいと思う。	目標を達成できるよう、計画の着実な推進に努めてまいります。				○
37	その他	その他		まだしっかりと理解ができていないので、自分たち市民がちゃんとした知識を身に付けることが大切だと思う。	いただいたご意見を参考とし、市民の皆さんの意識向上や行動変容に繋がるよう、情報発信や普及啓発に努めてまいります。				○
38	取組への期待	取組への期待		自然災害などの気候変動は、これから悪い方向に行くかもしれないので、しっかりとした対策を期待しています。	目標を達成できるよう、計画の取組の着実な推進に努めてまいります。			○	
39	取組への期待	取組への期待		地域の特色を活かしたエネルギーも、地域にとっても自然にとっても良いと思います。	本市は中山間地域、都市部、港湾部があるため、それぞれの地域の特色を活かしたエネルギーの有効活用を推進してまいります。				○
40	取組への期待	取組への期待	計画全体	GHGのエミッションを実質ゼロにする取組には期待したい。	計画において、長期的な目標として2050年温室効果ガス排出実質ゼロを掲げています。目標を達成できるよう、計画の着実な推進に努めてまいります。	○			

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
41	取組の提案	個別事業等への提案		ESGを取り組んでいる企業を紹介するサイトがあると、より協働や参画に繋がると考える。	いただいたご意見を参考とし、成功事例の共有に努めるほか、優良事例の横展開も視野に入れた情報発信の効果的な手法についても検討してまいります。			○	
42	取組への期待	取組への期待	適応策編	台風15号などの自然災害などが直近にあったので、気候変動への適応という点はより共感できる。	適応策編において、気候変動への適応に向けた取組を掲載しています。計画を着実に推進するほか、市民・事業者に対する適応策の普及啓発にも努めてまいります。	○			
43	その他	取組への疑義・反対意見		エネルギーの高度利用化については共感できない。	エネルギーを無駄なく使う「エネルギーの高度利用」は、脱炭素社会の実現に向けて不可欠なものだと考えています。市民・事業者への普及啓発に努めるなど、計画を着実に推進していくとともに、技術革新などに合わせ、必要な取組も検討してまいります。				○
44	取組への期待	取組への期待		気候変動への適応のところでは、取組を協力的に進めてほしい。	市民・事業者・行政が連携して取組を推進するよう努めてまいります。	○			
45	計画全体	計画全体		地球温暖化は地球全体の課題であり、小さな事からでも取り組んでいくことが大切だと思う。	計画を着実に推進し、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。				○
46	その他	取組への疑義・反対意見		共感はあるが、協力したくても経済面で妥協せざるを得ないことがあるので、ついていくことができるか不安	太陽光発電設備について、設備にかかる初期投資を抑えることができる第三者所有モデル(PPA)の普及拡大に努めてまいります。併せて、既存の助成制度の情報発信を行うほか、必要な支援策について検討してまいります。				○
47	取組の提案	個別事業等への提案	取組方針3	FCVやFCバスの導入促進	取組方針3のエネルギーの高度利用化において、次世代自動車の普及促進を掲げており、FCVやFCバスの導入促進に努めてまいります。	○			
48	その他	その他		省エネ性能が高い製品を入れることなどは効果があると思うが、価格も高い。その点で性能が低くても安い製品を購入してしまうこともあると思う。	環境性能に加え、初期投資のみならずランニングコストも含めて省エネ性能が高い住宅や家電製品を導入することのメリットをご理解いただけるよう、公民連携により情報発信の強化を図っていきます。			○	
49	取組の提案	個別事業等への提案		自然災害が起こったときに迅速に対応してほしい。(例:台風15号の時の断水)	いただいたご意見を参考とし、関係部局と必要な対応について検討してまいります。			○	

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
50	取組への期待	取組への期待	取組方針4	間伐や緑化など、吸収源対策の強化で放置林などの整備が進み、新たな活用法が見出されることに期待している。	取組方針4の気候変動への適応において、間伐や緑化など吸収源対策の強化を掲げており、オクズ材の利用の推進等に取り組んでいくこととしています。	○			
51	取組への期待	取組への期待		台風被害にあったことで自然とのふれあいや環境への取組をもっとやってほしいと思った。	温室効果ガスの排出量を削減する「緩和策」と、気候変動への適応を進める「適応策」を組み合わせることでまいります。			○	
52	その他	取組への疑義・反対意見		温室効果ガスの排出量を減らすことは重要だが、その代わりになるエネルギー源が十分にその役割を果たせるのか不明。	取組方針2で再生可能エネルギーの拡大、取組方針3でエネルギーの高度利用化を掲げており、市内の再生可能エネルギーの導入量を拡大し、地産地消を進めていくこととしています。				○
53	取組の提案	個別事業等への提案		インフラ整備の強化、更新	いただいたご意見を参考とし、関係部局と必要な施策について検討してまいります。			○	
54	取組の提案	個別事業等への提案		市民にできることをどんどん発信してほしい。	いただいたご意見を参考とし、市民の皆さんの意識向上や行動変容に繋がるよう、情報発信や普及啓発に努めてまいります。			○	
55	取組の提案	個別事業等への提案	計画全体	企業だけではなく、市民1人ひとりにも環境に対する意識をもっと向けられるように、情報の発信をたくさんしていければいいと思います。	脱炭素社会の実現に必要な視点として市民・事業者の意識の向上と行動変容を掲げています。市民の皆さんの意識向上や行動変容に繋がるよう、情報発信や普及啓発に努めてまいります。	○		○	
56	その他	その他		災害への対応は、今年発生した台風15号の影響に対する対応を鑑みてほしいと思った。	いただいたご意見を参考とし、関係部局と必要な対応について検討してまいります。				○
57	取組の提案	個別事業等への提案	計画全体	企業や市民が実際に行動することが重要だと思うので、やれることの情報発信してほしい。	脱炭素社会の実現に必要な視点として市民・事業者の意識の向上と行動変容を掲げています。市民の皆さんの意識向上や行動変容に繋がるよう、情報発信や普及啓発に努めてまいります。	○		○	
58	取組の提案	個別事業等への提案		家で出た大きなゴミ(家具や家電など)を置くことができるリサイクルステーションがあるが、もっと利用してもらうためにマップを作成してチラシのようにして配布する。	いただいたご意見を参考とし、必要な施策について検討してまいります。			○	
59	計画全体	計画全体		市民と公共団体が協力していかないと、環境などの取組は上手くいかないことが多いと思う。	市民・事業者・行政が連携して取組を推進するよう努めてまいります。			○	

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
60	取組への期待	取組への期待		環境に配慮した開発を行い、そのうえで、人にとっても住みやすい生活環境になるように期待する。	ご意見を今後の施策展開の参考といたします。			○	
61	その他	その他		第3次計画において目指す姿として人と自然が共生というのがあるが、人間の生活などを優先したら自然環境が悪化する可能性がある。	次期環境基本計画では、持続可能性を損なうことのないよう「人と自然が共生し、将来にわたり豊かな営みが続けられるまち」を目指していますが、ご意見を今後の施策展開の参考といたします。				○
62	取組への期待	取組への期待		人と自然がお互いを助け合うという事が実現できるのであれば、環境という面でも生活面でも豊かに続けられることに期待します。	ご意見を今後の施策展開の参考といたします。			○	
63	取組の提案	個別事業等への提案	取組方針4	静岡市の面積は141千haで、そのうち森林面積は107千haにもなる。これは全体の76%を森林が占めていることになり、森林の持つ温暖化抑制効果を最大限に活かす自治体としての潜在力がある。このため森林保護の財政面の補助のための施策(森づくり県民税の市民税版創設など)を検討する。	取組方針4の気候変動への適応において、間伐や緑化など吸収源対策の強化を掲げており、森林整備や国・県と連携した治山事業の実施に取り組んでいくこととしています。いただいたご意見は施策展開の参考といたします。	○		○	
64	取組の提案	個別事業等への提案	取組方針4	清水港の貯木場のブルーカーボンオフセット活用の可能性の検討。ブルーカーボンとは、海藻や海草、植物プランクトンなどが主に光合成によって、大気中から炭素(二酸化炭素?CO2)を取り入れ、それを従属栄養生物が利用するという一連のプロセスの中において、海洋生態系に吸収され固定される炭素のこと。また、その炭素固定能のことについて指す場合もある。ブルーカーボンは陸上に存在する森林などに蓄積される炭素であるグリーンカーボン(英語:Green Carbon?)の対語であり、2009年に国連環境計画(?UNEP?)によって命名された。	取組方針4の気候変動への適応において、間伐や緑化など吸収源対策の強化を掲げており、ブルーカーボンやDAC(大気中の二酸化炭素の固定化)の取組を支援していくこととしています。いただいたご意見は施策展開の参考といたします。	○		○	
65	取組への期待	取組への期待		脱炭素社会への移行は地域全体の課題である中、静岡県を牽引する静岡市が先んじて取り組むことは意義のあることと感じる。	本市の取組を県内の他市町に横展開し、県内の市町を牽引することができるよう、計画の取組を推進していきます。				○
66	計画全体	計画全体	計画全体	企業や団体だけでなく、いかに個人を巻き込んでいくかが重要と考える。その中でも広く普及させるためには、無意識的に行動変容を促すかが重要と感じる。	国の計画は、ルールのイノベーションとして、新たな規制等を打ち出すことにも言及していますが、本市においては、新たなルールが打ち出された際、市民の皆さんや企業が困ることのないよう、必要な環境整備等にも取り組んでまいります。また、ナッジ手法の取り入れも検討するなど、情報発信の強化や成功事例の共有などにも努めてまいります。	○		○	
67	計画全体	計画全体		地球温暖化対策については、後世に大きな影響を及ぼすため、今すぐに取り組みなくてはならない。個人任せでは限界があるため、国・県・市が先導して進めていくべきだと思う。	市民・事業者の意識向上や行動変容に繋がるよう、国や県とも連携しながら計画の取組を推進していきます。			○	

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
68	取組の提案	個別事業等への提案		国・県・市が連携を密に取り、市民が「やらないといけないのはわかっている。しかし、話が二転三転して、結局どうすればいいのかわからない」と不安にならないように、わかりやすく、やりやすい推進活動を行ってほしい。	市民・事業者の意識向上や行動変容に繋がるよう、国や県とも連携しながら計画の取組を推進していきます。			○	
69	取組の提案	個別事業等への提案		光熱費だけではなく生活費全般的に物価高騰し、日々の生活が大変な人が多い。そのなかでも進めるべき活動ではあると思う。申請しなくては援助されない補助金制度とか(省エネ設備等)ではなく、誰もが取り組める活動を行ってほしい。	取組方針1の省エネルギーの推進において、脱炭素ライフスタイル・ビジネスへの転換を掲げており、設備の導入のみならず、生活の中で行う様々な取組を掲げています。情報発信・普及啓発に意を用いていくほか、計画を着実に推進してまいります。			○	
70	計画全体	目標数値への意見		地球温暖化対策には、建物の省エネルギー化など脱炭素の取組が必要であり、そうした取組が計画に掲げられている。ただし、水素ステーションの設置数の目標が「3」と低い理由がわかりません。	計画を着実に推進してまいります。水素ステーションの設置目標は、現時点における事業者との連携による実現可能性等も踏まえて設定していますが、計画の進捗状況や技術革新など社会環境の変化に応じ、適宜見直していきます。				○
71	計画全体	計画全体		第3次計画の目標を達成するためには、脱炭素に関する市民の理解、民間事業者の協力が必要なので、官民連携して、推進していくことが求められると思います。	いただいたご意見を参考に、市民・事業者・行政が各々の役割を果たしつつ、連携しながら取組を進めてまいります。			○	
72	取組の提案	個別事業等への提案	取組方針1	脱炭素なまちづくりには、テレワークの普及やペーパーレス化などのデジタル化も必要と思います。	取組方針1の省エネルギーの推進の中で、脱炭素ライフスタイル・ビジネスへの転換にテレワークの普及やペーパーレス化などを記載してあるように、デジタル化の推進にも取り組んでまいります。		○		
73	計画全体	計画全体		子ども達が大人になっても、住みやすいまちであるためには、個人個人できることからスタートしていかないといけないのかと思います。	いただいたご意見を参考とし、情報発信の強化や成功事例の共有などに努めてまいります。				○
74	計画全体	計画全体	計画全体	市民はライフスタイルの転換、事業者はGHG抑制活動やその支援活動に具体的に取組んでいかないとならない状況にあると考えている。	計画において、脱炭素社会の実現に向けて必要な視点として、市民・事業者の意識の向上と行動変容を掲げており、そのために必要な情報発信や普及啓発に努めてまいります。	○			
75	取組の提案	個別事業等への提案		次世代自動車や再生可能エネルギー設備導入に係る助成金を充実させていただければ、脱炭素化に向けた取組がより進んでいくと思います。	太陽光発電設備について、設備にかかる初期投資を抑えることができる第三者所有モデル(PPA)の普及拡大に努めてまいります。併せて、既存の助成制度の情報発信を行うほか、技術革新などに合わせ、必要な支援策についても検討してまいります。			○	

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
76	進捗指標	取組方針・削減目標への提案		削減目標は国や県より高いが、2050年カーボンニュートラルに向けては2030年までの削減の勢いが大切だと考えるため、60%前後でもよいくらいだと考える。	目標を46%とする(県は46.6%)国や県とも連携して施策を進めていくことや、実現可能性等も考慮し、目標は変更しないこととします。			○	
77	取組の提案	個別事業等への提案	取組方針2	削減効果が大きいものの、個人の努力では導入ハードルが高い、再生可能エネルギーの導入と、既存の建物の断熱など省エネ性能アップに、特に力をいれていただきたい。	太陽光発電設備について、設備にかかる初期投資を抑えることができる第三者所有モデル(PPA)の普及拡大に努めるほか、ZEH・ZEBの普及拡大も進めてまいります。	○		○	
78	取組の提案	個別事業等への提案		それぞれの考え方については分かりますが、どのように実行して、市民協力を得ていくのかという手順が示されているのでしょうか？ 行政の本気度にもつながるものと感じてしまいます。市民への情報発信・共有、取組状況の発信や成果公表などをあらゆる方法で伝えていかないと、市民レベルで進んでいかないと。〇〇しないとダメ！ではなく、丸々するとイイ！的な情報発信を市民にお願いしたい。	脱炭素社会の実現にあたって、まずは市民・事業者の意識向上、行動変容が重要と考えており、計画の目標達成に向けた視点として位置付け、取組を進めてまいります。いただいたご意見を参考とし、ナッジ手法の取り入れも検討するなど、情報発信の強化や成功事例の共有などに努めてまいります。			○	
79	取組の提案	個別事業等への提案		地球温暖化対策の必要性および、そのための基本方針・取組方針・目指すべき方向性について理解・賛同できます。市民や事業者へ意識を定着させる具体的な(イメージしやすい・わかりやすい)内容やインセンティブが掲げられていると、より良いと考えます。	脱炭素社会の実現にあたって、まずは市民・事業者の意識向上、行動変容が重要と考えており、計画の目標達成に向けた視点として位置付け、取組を進めてまいります。いただいたご意見を参考とし、ナッジ手法の取り入れも検討するなど、情報発信の強化や成功事例の共有などに努めてまいります。			○	
80	取組の提案	個別事業等への提案		実施される企画・イベントでは、環境に関係ない内容であっても、地球温暖化対策に関することに少しでも触れる構成・目的とする(例:環境に関するブースを設置、出展者は環境に関する宣言をする、その企画・イベントが地球温暖化対策にどのように繋がっているか宣言・評価する等)。また、そのような企画・イベントに対しては、静岡市として積極的な協賛・後援があると心強いです。	いただいたご意見は、今後の施策展開の参考といたします。			○	
81	取組の提案	個別事業等への提案		行政・市民・事業者のそれぞれ立場で、実践している取り組みやアイデア・商品等が紹介され、情報収集や意見交換ができる場(展示会やセミナーのようなイベントのイメージ)を設ける。	いただいたご意見を参考とし、成功事例の共有に努めるほか、情報発信の効果的な手法についても検討してまいります。			○	
82	取組の提案	個別事業等への提案		各種設備の導入がハードルとなる市民・事業者のための補助金制度等(インセンティブ)の充実。	いただいたご意見を参考とし、技術革新等に合わせ、必要な支援策についても検討してまいります。			○	
83	その他	その他	取組方針1	近年、自転車用の舗装表示が増えたおかげで、安心して自転車での移動を楽しんでいます。取組方針1の「輸送・移送手段の省エネルギー化」は、ある程度成功しているのではないのでしょうか。	計画において、公共交通機関や自転車、徒歩での移動を推進していくとともに、自転車走行空間の整備を掲載しており、安全・快適な自転車での移動が可能となるよう、引き続き取組を推進してまいります。	○			

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
84	取組の提案	個別事業等への提案	取組方針3	取組方針3の「次世代自動車の普及拡大」については、エネルギーを何から生み出すかが重要な問題です。電気自動車が普及することで電力需要が急激に上がり、その結果、火力発電所からのCO2排出が増えることになっては、温暖化対策としてはむしろマイナスです。PHVも、普及台数が少なく、かつ充電が電気が余っている夜間に行われるならばよいでしょうが、普及して台数も増え、電力需要が多い昼間に充電したり、ということになれば、やはり発電所からのCO2排出を増やすことにつながります。電力需要が増えて原子力発電所の再稼働につながるならば、CO2だけでは語れない持続可能性の問題があります。したがって、EVやPHVの導入促進よりも、プラグインでないハイブリッド自動車の普及促進のほうが、温暖化対策として現実的かつ効果的であると思います。	取組方針3のエネルギーの高度利用化において、次世代自動車の普及拡大のほか、脱炭素なまちづくりの推進とEMSを活用したエネルギー管理を掲げています。また、エネルギーの地産地消を前提とした再生可能エネルギーや蓄電池などの積極導入及び有効活用するためのエネルギーマネジメントシステムの構築などを推進することにより、次世代自動車の普及とともに使用する電力等のグリーン化も進めてまいります。	○		○	
85	取組への期待	取組への期待	リーディングプロジェクト	夢のある技術の開発に挑戦してほしいです。	計画では、本市の特性や地域資源を活かして進めていく取組として、リーディングプロジェクトを掲げています。脱炭素先行地域やグリーン水素の利活用促進、グリーン産業の創出などの取組を推進する中で、先進的な技術の開発を行う事業者の支援も行っております。	○		○	
86	取組の提案	個別事業等への提案		世界の動き、国の動きに追従も大切だけど地域に根付いた施策が必要と思う。市民が参加し易く取組しやすい物に力を入れて進めてもらいたい。	地域特性・資源を活かし、特に注力していく取組としてリーディングプロジェクトを掲載しており、着実に推進してまいります。また、市民の皆さんの意識の向上、行動変容につながるよう、情報発信や成功事例の共有に努めるとともに、必要な施策について検討してまいります。			○	

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
87	進捗指標	取組方針・削減目標への提案		もっと大きな削減目標を示して欲しい。	目標を46%とする(県は46.6%)国や県とも連携して施策を進めていくことや、実現可能性等も考慮し、目標は変更しないこととします。				○
88	進捗指標	取組方針・削減目標への提案		削減根拠が分からない。	各取組における削減量を掲載します。		○		
89	計画全体	計画全体	計画全体	やらなければならないことを示して欲しい。	本編P42以降の「◆市民・事業者の取組内容◆」を「◆市民・事業者が取り組むこと◆」に改めるとともに、記載事項についても市民の皆さんに分かりやすいメッセージとして伝わるよう修正します。	○			
90	進捗指標	取組への疑義・反対意見		事務事業編の削減数値があっていないのではないかと。	排出実績や削減量等を精査し、修正します。		○		
91	計画全体	個別事業等への提案		しっかりと計画立ててほしい	搭載事業を推進するにあたって、目標(アウトカム)を明確にしたうえで投入するインプットを精査するなど計画的に進めてまいります。			○	
92	その他	取組への疑義・反対意見		2030年、2050年に向けた対策や、社会的弱者の視点が十分に反映されておらずまだまだ不十分です。	地球温暖化の影響は社会的弱者に対し顕著に現れると考えられることから、社会全体で地球温暖化対策にあたるのが重要だと考えられます。また、いただいたご意見は、今後の施策展開の参考といたします。			○	
93	取組の提案	個別事業等への提案		意見1 推進体制の強化と見直し 静岡県民の多様な意見を反映できる公開・熟議型の推進体制を 1. 気候市民会議の実現 脱炭素社会に向けての転換は、すべての人の生活や経済社会の幅広い領域に影響を及ぼす大きな社会的変化であり、その過程において誰一人取り残されないよう県民の多様な意見を反映できる推進体制が必要です。その手段として静岡市では、市民、市民団体、事業者、各行政機関によって構成した「静岡市環境審議会」が設置されています。一方で、より直接的に市民が気候変動政策の決定に参加する手段として注目されるのが、欧州の国や自治体で2019年から相次いで開かれている「気候市民会議」です。国や地域の縮図となる数十人から百数十人の人々を一般から無作為抽出し、社会の構成員である市民が、数週間から数ヶ月かけて立場、意見、価値観の違いを克服し、主権者と当事者性を培いながら気候変動対策を議論し、結果を政府や自治体の気候政策の立案や実行に活用するもので、まさに市民がつくる脱炭素社会、気候民主主義です。日本では札幌市、川崎市で開催され、所沢市、武蔵野市では行政主導型で計画が進んでいます。静岡市環境審議会や関係組織、パブリックコメントだけでは得られない、市民のより多様な意見を反映できる公開・熟議型の推進体制を強く求めます。	ご意見にあるように、本市では附属機関として静岡市環境審議会を設置し、様々な立場からのご意見をいただいております。また、令和3年度には、脱炭素社会の実現に向けて意見交換を行う場として、行政、事業者、市民団体、学識経験者等の委員で構成する「脱炭素社会に向けた官民連携会議」を設置し、検討を進めております。この他、地球温暖化対策実行計画の策定にあたっては、高校生及び大学生のワークショップも開催したところであり、計画の推進にあたって、多くの皆さんの共感が得られる場を設けるなど、いただいたご意見は今後の施策展開の参考といたします。			○	

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
94	取組の提案	個別事業等への提案		<p>2. 社会の主流から取り残されてきた人々の視点を加えたタスクフォースの設置を</p> <p>国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)が昨年2月28日に公表した最新の報告書では、あらゆる知識を開発のプロセスに結び付けることが、それぞれの地域により適した効果的な対策につながるという科学的な証拠があると指摘し「行政が女性や若者、先住民などこれまで社会の主流から取り残されてきた人々と、協力関係を構築することによってレジリエントな開発が進む」と結論づけています。ジェンダー問題に取り組む団体や女性研究者や、若者が気候変動・エネルギー政策を策定するプロセスに入り、リーダーシップを発揮することが重要だと考えます。そこで、気候変動対策に女性や若者など、これまで社会の主流から取り残されてきた人々の視点を加えたタスクフォースの立ち上げを求めます。</p>	<p>本市では、計画の策定にあたり、これからを担う若い世代の意見を反映させるため、高校生、大学生を対象としたワークショップを開催し、地球温暖化対策について学ぶとともに、自分たちにできることを考え、提案していただく取組を実施しました。若い世代のみならず、様々な立場の方々からのご意見を今後の施策展開に反映できるように、意見聴取の手法等について検討してまいります。</p>			○	
95	取組の提案	個別事業等への提案		<p>意見2 適応策に「福祉」「健康」「雇用」の視点を「低所得者向け省エネ診断事業」を求めます</p> <p>住宅や建物の高断熱高気密化や、省エネ家電等の買い換えといった対策は、エネルギー消費量とCO2排出量を減らす家庭部門でもっとも有効な省エネ方法とされています。また今後、温暖化の影響でますます極端な気象が増えるとされる中、熱中症やヒートショック等を防ぎ、誰もが健康で快適に過ごすためにも一刻も早い対策が求められています。しかし、低所得・高齢者・一人親・生活保護受給世帯など、経済的余裕がない世帯にとって導入の負担が大きく、一方でエネルギー価格の上昇に伴い、光熱費が家計を圧迫し低所得世帯ほど電気代が家計に重くのしかかる課題があります。今後、根本的な対策がなされなければ、冷暖房や電気を十分に使えないエネルギー貧困の増加が予測されます。</p> <p>省エネ診断事業は、①環境対策(CO2 排出削減) ②福祉対策(低所得者の光熱水費の節約) ③失業対策 ④行政経費の節約(行政の光熱水維持費や失業手当費用の削減)という4つの効果を同時に生み出し、環境政策統合の成功例としてドイツでは広く注目されています。脱炭素政策において「健康で快適な住まい」に、誰一人取り残されることがないように、静岡市に以下の要望を行います。</p> <p>①低所得世帯、高齢者世帯、ひとり親世帯、生活保護受給世帯などが、エネルギー消費削減とともに、必要なエネルギーサービスを受け、住環境が改善されること ②上記のような世帯向けのエアコン等の設置、省エネ機器の提供、省エネ情報の提供、簡易・低コストな断熱措置等 ③上記のようなサービス提供にあたって、地域の専門家や人材が連携し、雇用対策(失業者の参加)の可能性も開くこと</p>	<p>低所得者に限定したものではありませんが、本年度、各家庭で省エネ行動を実践し、その成果を検針表により前年同月の電気使用料と比較する「おうちの省エネチャレンジ」事業を実施しております。来年度以降も、いただいたご意見を参考とし、関係部局も交え必要な施策について検討してまいります。</p>			○	

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
96	取組の提案	個別事業等への提案		<p>意見3 将来的にも、化石燃料由来の水素・アンモニアと、原発を気候変動対策としないこと</p> <p>国際エネルギー機関(IEA)は、パリ協定の1.5度目標達成のためには新規の炭鉱やガス田の開発は2021年以降、止めるべきだとしています。また最新の科学によれば、既存の化石燃料インフラについても、稼働可能年数を前倒して使用をやめていかなければ、1.5度目標は守れないとされています。しかし、日本政府のエネルギー基本方針では「2050年カーボンニュートラル」「技術革新」の名の下、石炭・天然ガスによって水素やアンモニアを燃料とする計画があります。また、原子力に依存した政策となっています。</p> <p>ロシアによるウクライナ軍事侵攻は、海外に資源を依存することは国防の観点からも非常に危険であり、また原子力発電も軍事的リスクを伴う事実を知ることになりました。そのような中、ドイツではロシア侵攻と天然ガス危機を受けて、再生可能エネルギー100%電力供給達成を2035年に前倒しすると発表しました。</p> <p>東京電力福島第一原発事故から明日で11年となります。自然災害や、軍事行動などの有事における原発の危険性は根本的に解決されることはありません。一度事故が起これば、被害は甚大です。原発は採掘から、加工、精製、運搬、運転、使用後の処理、保管、管理のすべてにおいて、被ばく労働を伴うエネルギーです。原発がある限り、誰かがそのリスクを負わなくてはなりません。この負の遺産を受け継ぐのは、気候変動と同じ「子どもたち・未来の世代」です。</p>	リーディングプロジェクトのグリーン水素の利活用促進では、水電解による水素製造など、製造過程においても温室効果ガスを発生させない技術の開発も推進していきます。また、原発の再稼働を含む電源構成については、国のエネルギー基本計画等も含め、動向を注視してまいります。			○	
97	取組の提案	個別事業等への提案		<p>意見4 ソーラー屋根台帳と住宅のソーラーパネル義務化</p> <p>東京都や川崎市では、ソーラーパネル義務化に向けた取組が進んでいます。静岡市でもソーラー屋根台帳と、住宅のソーラーパネルの義務化に取組んでください。</p>	本市では、ZEHの普及拡大や、第三者所有モデル(PPA)を活用した太陽光発電設備の普及を促進しております。薄膜型太陽電池など新技術の開発状況にあわせた支援策も検討するなど、いただいたご意見は今後の施策展開の参考といたします。			○	
98	掲載文の修正等	個別文言への意見		意見5 「地球温暖化」ではなく「気候危機」「気候非常事態」を採用してください	本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、国・県の計画と整合を図りながら策定しており、地球温暖化という表現を用いています。				○
99	取組の提案	個別事業等への提案		<p>触れる機会がないため、なかなか情報として降りてきてないと思う。文書でだされてもなかなか読もうとも思えない。興味を出す以前の問題になってしまっている。文書だけで開示するのではなくて、市民の根本、若者層までが触れる機会を考えていただけたらもっと興味関心が出てくるのではないかと感じます。</p>	本市では、エスパルスなどの市内企業とも連携して地球温暖化に関心のない方に対する訴求にも取り組んでいるところであり、いただいたご意見を参考とし、このような露出機会をさらに充実させるとともに、市民の皆さんの意識の向上、行動変容につながるよう、情報発信の内容や手法等について検討するとともに、環境教育を通じた普及啓発に努めてまいります。			○	

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
100	その他	取組への疑義・反対意見		政策立案工程に、多様な意見が反映されていない。誰一人とり残されない政策になっていない。	計画の策定にあたり、事業者、市民団体、市民、学識経験者など様々な立場の方からご意見をいただくため、静岡市環境審議会や脱炭素社会に向けた官民連携会議等に諮り、議論していただいております。また、高校生や大学生の意見を求めるためのワークショップも開催したところですが、計画の推進にあたっては多様な意見を反映するよう努めてまいります。なお、地球温暖化の影響は、特に社会的弱者に顕著に現れると考えられることから、社会全体で地球温暖化対策を進めることが重要だと考えています。			○	
101	取組の提案	個別事業等への提案		太陽光発電設備や燃料電池、蓄電池などを導入しようという一般家庭に対しては、国や県の施策にとらわれず、市独自の補助金制度を模索してほしいです。	本市では、設備の初期投資を抑えることが可能な第三者所有モデル(PPA)による太陽光発電設備の導入と電力の地産地消や、ZEHの普及に対する支援を行っています。いただいたご意見を参考とし、必要な支援策について検討してまいります。			○	
102	その他	取組への疑義・反対意見		環境に関する問題は大事なことだと思うが、自分たちが具体的に何をすれば良いのか分からないのが正直な感想です。家電を買い替えたり太陽光パネルを設置するには資金が必要になるので早急には難しいです。	計画において、市民・事業者が行う取組と、行政が行う取組を分けて記載しています。市民の皆さんにご理解いただけるよう、情報発信・普及啓発に努めてまいります。また、設備導入のみならず、こまめな節電や節水も重要だと考えておりますが、設備の初期投資を抑えることが可能な第三者所有モデル(PPA)による太陽光発電設備の普及等も促進してまいります。			○	
103	取組の提案	個別事業等への提案		省エネ、再エネの重要性は理解できるが、まずは災害に強い街づくりを優先的に進めてもらいたい。	災害の激甚化を引き起こす地球温暖化への対策は喫緊の課題であり、温室効果ガスの排出削減を行う緩和策と、起こってしまう、避けられない温暖化への影響への適応を行う適応策を同時に進めることが必要だと考えています。なお、適応策として国土強靱化にも取り組むこととしています。			○	
104	取組の提案	個別事業等への提案		CO2削減について、市単位では取組に限界があるため、国へ強く働きかけることも必要と考えます。	本市の脱炭素先行地域の取組は、他地域の取組を牽引するものとして国から選定されたものですが、計画の推進にあたっては、国・県とも連携しながら取り組んでまいります。			○	
105	取組の提案	個別事業等への提案		市民へ呼びかけるのと同時に、市としてやれることからやっていく必要があると思います。例えば、市職員に提供する事業者による宅配弁当について、使い捨てプラ容器での提供を禁止する(対応できない事業者は出入りを禁止する)、消耗品のグリーン購入の徹底、テレワークのさらなる推進など、予算を使わずできることもあるのではないのでしょうか。	市の取組については事務事業編としてまとめたところであります。さらにグリーン購入など個別具体的な取組については環境マネジメントシステムを通して実施しているところですが、いただいたご意見を参考とし、環境マネジメントシステムのさらなる充実・強化についても検討してまいります。			○	

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
106	取組の提案	個別事業等への提案		産業界の取組みを進める第一歩として、二酸化炭素排出量の測定を推進する必要がある。脱炭素先行地域として、例えば、測定済みの企業数(割合)全国一位を目指すなど、大きな目標を掲げることも一案ではないか。その方策として、測定のためのコンサルティーを助成する、測定済み企業を称揚・認定するといった取組みを進めてはどうか。	事業者の意識の向上・行動変容に向けて、排出量の把握・管理が必要でと考えており、計画においてエコアクション21などの環境マネジメントシステムの取得の支援を掲げています。いただいたご意見を参考とし、排出量の把握・管理を行う事業者を増やすための手法等について検討してまいります。			○	
107	その他	その他		自分ごとに捉えることが難しい内容だと感じた。良いことだと認知しているが実感がわからない	計画において、脱炭素社会の実現に向けて必要な視点として、市民・事業者の意識の向上と行動変容を掲げており、そのために必要な情報発信や普及啓発に努めてまいります。				○
108	取組の提案	個別事業等への提案		静岡は車への依存が高い土地でもあるので車生活の快適性を向上するだけでも意識が変わりやすいと思います。そのためには道路整備や渋滞緩和施策などを取り組むとよいと思います。	交差点改良などの渋滞緩和策の推進と同時に、自転車や公共交通利用の推奨にも取り組んでまいります。			○	
109	計画全体	計画全体	計画全体	地球温暖化によるリスクを考えると、脱炭素を社会全体、また市民一人一人の意識を改善&高めて行動していくことが、二酸化炭素排出量の削減につながっていくと思う。	計画において、脱炭素社会の実現に向けて必要な視点として、市民・事業者の意識の向上と行動変容を掲げており、そのために必要な情報発信や普及啓発に努めてまいります。	○		○	
110	取組の提案	個別事業等への提案		家から一番近いスーパー(車で5分)では、トレーやペットボトルなどの回収を行っておらず、それらをリサイクルに出すためには、車で20分はかかる場所までいかなければならない。車を持っていない方や高齢者の方など、リサイクルに出したくてもできず、やむをえずそれらを燃えるゴミとして出している方もいるかもしれない。スーパーはトレーやペットボトルなどを使った商品を販売して収益を得ているのだから、リサイクルを推進する社会責任としてそれらを回収する役割を担う責務があると思う。古紙は市の回収や古紙ステーションなどがわりとあるのでよいが、トレーやペットボトルを回収しているスポットが少ないと思う。せめてスーパーはどここのスーパーも回収を行ってもらえるような仕組みにしてほしい。	いただいたご意見を参考とし、必要な施策について検討してまいります。			○	
111	取組の提案	個別事業等への提案		太陽光発電の固定価格買取期間が満了した売電価格を維持する施策	本市では、固定価格買取期間が終了したご家庭の余剰電力を買い取り、市庁舎等の市有施設で活用する事業を実施しています。このような事業を通じ、今後も再生可能エネルギーの地産地消を推進してまいります。			○	
112	取組への期待	取組への期待	取組方針4	地産地消やオクシズ活性化を期待します。	取組方針4の気候変動への適応において、間伐や緑化など吸収源対策の強化を掲げており、オクシズ材の利用の推進等に取り組んでいくこととしています。いただいたご意見は今後の施策展開における参考といたします。	○		○	
113	取組の提案	個別事業等への提案	適応策編	減災に向けた取組みをお願いします。	適応策編に基づき、自然災害への対策を推進していくこととしています。	○			

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
114	進捗指標	取組方針・削減目標への提案		静岡市が他の自治体を牽引するような、もっと高い目標を具体的に掲げて実行してほしい。	目標を46%とする(県は46.6%)国や県とも連携して施策を進めていくことや、実現可能性等も考慮し、目標は変更しないこととします。			○	
115	取組の提案	個別事業等への提案		身近な個々の取り組みに対し、きっかけとしての補助金や制度があると良いと感じる。	本市ではZEHの普及に対する支援やを行っております。いただいたご意見を参考とし、設備への初期投資を抑えることが可能と考えられる薄型太陽電池などの技術開発の状況に合わせ、必要な支援策について検討してまいります。			○	
116	計画全体	計画全体		計画の内容はすべて温暖化対策につながるので良いものと思うが、静岡市だけでなく、県全体または国全体で足並みをそろえないとどうしても不平等感が出る。	本市の地球温暖化対策実行計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、国や県の計画を踏まえて策定するものです。			○	
117	進捗指標	取組方針・削減目標への提案		数年ごとの期間に分けて重点指標を定めた方が、補助金も出しやすいし、プロモーションもしやすく市民に受け入れられやすい。	削減目標に中間目標を設定します。		○		
118	取組の提案	個別事業等への提案		地球温暖化にだけフォーカスされてもなかなか人は動かない。自分にもメリットがある形で広げていく必要があり、その中で、やはり住宅を始めとする建物に関するCo2削減は街づくりや当人の経済状況とも繋がるので重要だと思う。上項で周辺地域と足並みをそろえるべきとしたが、住宅に関してはやはり静岡市は他市町村と属性が違う。中古住宅リノベーションの周知やインスペクションによる不動産情報の透明化、それらに本気で取り組めるのは県内では静岡市。他市町村では土地が安く省エネ性能の高い住宅を手に入れやすい。今の静岡では土地が高い分、建物にお金をかけられないものの、どうしても新築が良いという人が多く、結果的に短期で空き家になる家が多い。格安の新築を買うよりも、中古住宅をリノベーションした方が住宅性能はほぼ確実に高い。日本人はどうしても新築信仰があるが、地球温暖化と抱き合わせで、空き家問題にも寄与、当人はコストを抑えて性能の高い家に住むことができる。静岡市がこの中古住宅流通に全力で取り組むことは全国的にも非常に意味のあることだと思います。自分の会社では、住宅雑誌を作っているのでぜひ協力させてください。	本市が実施しているZEH建設に対する助成制度は、中古住宅を改修してZEHとする場合も対象としています。このような制度を通じ、中古住宅の改修であっても省エネ性能が高く、再エネ設備も備えた住宅への転換を促進していきます。			○	
119	計画全体	計画全体		地球温暖化の抑制の必要性およびそのために計画が策定されることは理解できる。ただし、1市民への意識・行動の定着としては具体性が見えづらいとも思いました。(結果の見える化やインセンティブ)	計画において、市民・事業者が取り組む内容と行政が取り組む内容を分けて記載しております。いただいたご意見を参考とし、市民の皆さんにご理解いただけるよう、情報発信の内容や手法等について検討するとともに、進捗状況をわかりやすく発信していくよう努めてまいります。			○	

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
120	取組への期待	取組への期待		厳しい目標を設定しており、民間、市民の協力が不可欠ですが、各事業を推進することで、脱炭素の社会が実現できればいいと思います。	市民・事業者・行政が連携して取組を推進するよう努めてまいります。				○
121	取組の提案	個別事業等への提案		地域住民・地域企業への理解を深めることが最重要事項ではありますが、自治体からの仕掛けとしてオープンシティ・スマートシティ構想など、具体的なインフラ整備を産官学連携等により実現させた方が、住民に対する強烈的なコミットメントとなると思われます。	公民連携により推進し、地域の特徴を活かした取組であるリーディングプロジェクトに脱炭素先行地域の整備を掲げています。これらの取組は全国的にも先進的な取組であるため、PPA事業への参加を通しての市民や事業者の関与の機会を設けるなど、住民全体の意識付けにも貢献できるようにしていきたいと考えています。			○	
122	計画全体	計画全体		地球温暖化をこれ以上進めないために脱炭素によるCO2削減を推進していく必要がある。	計画を着実に推進し、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。				○
123	取組の提案	個別事業等への提案		省エネ機器の導入について幅広い補助を交付してほしい。	本市では市民に向けては、ZEHの普及に対する支援を行っております。また、事業者に向けては、中小企業の省エネ設備整備の支援を行っております。いただいたご意見を参考とし、設備への初期投資を抑えることが可能と考えられる薄型太陽電池などの技術開発の状況に合わせ、必要な支援策について検討してまいります。			○	
124	取組の提案	個別事業等への提案		公共交通機関がこれ以上衰退しないよう支援してほしい。(バス、電車共に運行本数がかなり減らされている)	リーディングプロジェクトに「公共交通機関の利便性向上と利用促進」を掲げており、プロジェクトの取組を着実に推進してまいります。			○	
125	取組の提案	個別事業等への提案		市民への説明。分かりやすく。	いただいたご意見を参考とし、市民の皆さんにご理解いただけるよう、効果的な情報発信の内容や手法等を検討してまいります。			○	
126	進捗指標	目標数値への意見		目指す目標に共感できるが、各目標へのステップが抽象的に感じる。具体的にいつまで、どこに、何を導入するのか気になる。	いただいたご意見を参考とし、市民の皆さんに計画についてご理解いただけるよう、今後の情報発信の内容や手法等について検討してまいります。また、各指標の中間目標も定めることとします。			○	
127	掲載文の修正等	個別文言への意見		民間企業に勤める者としては、共感できることが多く、内容も理解できるが、これを一般市民として理解できるかと聞かれると難しいように思う。	本市では、エスパルスなどの市内企業とも連携して地球温暖化に関心のない皆さんに対する訴求にも取り組んでいるところであり、いただいたご意見を参考とし、このような露出機会をさらに充実させるとともに、市民の皆さんの意識の向上、行動変容につながるよう、情報発信の内容や手法等について検討するとともに、環境教育を通じた普及啓発に努めてまいります。			○	

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
128	取組の提案	個別事業等への提案		もう少しかみ砕いて、私たちの生活の中で何をしていくべきかが明確になるともっと良い。 この第3次計画の”小学生版” ”中学生版”などがあると、子供たちがもっと興味を持って環境保全の為に参画するように思う。	いただいたご意見を参考とし、市民の皆さんにご理解いただけるよう、効果的な情報発信の手法等を検討してまいります。また、環境教育を通じて子供たちの理解促進を図るとともに、効果的な説明資料について検討してまいります。			○	
129	計画全体	計画全体		地球温暖化がすさまじく進んでいます。その中で至急な対策が必要であると感じます。	計画の着実な推進に努めてまいります。				○
130	計画全体	計画全体	計画全体	脱炭素社会に向けて、再生エネルギーの活用や市民一人一人の意識拡大が必要だと思います。当社は進んでいますが、市民目線では、地域の自治体経由での教育などが必要かと思えます。市民一人一人の意識改革と改革の行動だと思います。	計画において、脱炭素社会の実現に必要な視点として市民・事業者の意識の向上と行動変容を掲げるとともに、計画の推進にあたっての横断的な考え方として環境教育を位置付けており、これらの考え方に基づき取組を推進してまいります。	○		○	
131	計画全体	計画全体	計画全体	市民が確実に実施できる内容(簡単に生活に生かせる)を提示いただきたい。	計画において、市民・事業者が取り組む内容と行政が取り組む内容を分けて記載しており、さらに分かりやすいメッセージとして伝わるよう修正します。いただいたご意見を参考とし、市民の皆さんにご理解いただけるよう、情報発信の内容や手法等について検討してまいります。	○		○	
132	取組への期待	取組への期待		脱炭素先行地域の整備促進・公共交通機関の利便性向上と利用促進等積極的な計画が目標とされている。	公民連携により推進し、地域の特色を活かした取組であるリーディングプロジェクトに脱炭素先行地域の整備促進や公共交通機関の利便性の向上と利用促進等を掲げています。これらの取組を推進し、市内外へと横展開していきます。				○
133	取組への期待	取組への期待		温暖化対策に向けて必要なことが明示されており、地域の特色を生かした方針が盛り込まれていることに納得感があり、共感する。	地域の特色を活かした取組を、市民・事業者と連携しながら推進し、脱炭素社会の実現に努めてまいります。				○
134	取組の提案	個別事業等への提案	計画全体	計画を推進するための市民に対する啓蒙も同時に実施してほしい。教育現場や環境に関する情報にリーチしたい人に届くような発信をしてほしい。	計画において、脱炭素社会の実現に必要な視点として市民・事業者の意識の向上と行動変容を掲げています。市民の皆さんの意識向上や行動変容に繋がるよう、情報発信や普及啓発に努めてまいります。	○		○	
135	取組の提案	個別事業等への提案	取組方針4	適切な間伐実施や循環利用の確立等による森林吸収源対策推進については、植えるだけで終わりではなく、オクシズ材のブランディングなど木材の利用を促進するしくみにも力を入れてほしい。	取組方針4の気候変動への適応において、間伐や緑化など吸収源対策の強化を掲げており、オクシズ材の利用の推進等に取り組んでいくこととしています。いただいたご意見は今後の施策展開における参考といたします。	○		○	

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
136	取組の提案	個別事業等への提案	計画全体	次世代を担う子供たちへの環境教育が推進できると良いと思う。	計画において、基本方針を実現するための横断的な考え方として環境教育を盛り込んでいます。環境教育を通じて、脱炭素社会の実現に向けた意識の向上、行動変容を推進していきます。	○		○	
137	その他	その他		51%削減に向けた削減指標の中でも割合の高い業務・家庭部門の取組について詳しく聞きたいと思った。	いただいたご意見を参考とし、市民の皆さんにご理解いただけるよう、効果的な情報発信の内容や手法等を検討してまいります。				○
138	取組への期待	取組への期待		未来の子供たちのためにも温暖化対策は必要と考えます。	計画を着実に推進し、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。				○
139	取組への期待	個別事業等への提案	リーディングプロジェクト	静岡発の技術開発	計画では、本市の特性や地域資源を活かして進めていく取組として、リーディングプロジェクトを掲げています。脱炭素先行地域やグリーン水素の利活用促進、グリーン産業の創出など、市内外に横展開できるような取組を推進していきます。	○			
140	計画全体	計画全体		市民へのわかりやすさの向上。内容よりもその理解への工夫と時間が必要。一部では効果、成果はなく全体総出で動くことで進むこと。	いただいたご意見を参考とし、市民の皆さんにご理解いただけるよう、効果的な情報発信の内容や手法等を検討してまいります。			○	
141	その他	取組への疑義・反対意見		太陽光発電を家に設置するなどもお金がかかります。個人でできること(自転車や公共交通機関の利用など)は取り組みやすいですが、その他のことは手をつけにくいと感じました。	太陽光発電設備について、設備にかかる初期投資を抑えることができる第三者所有モデル(PPA)の普及拡大に努めてまいります。併せて、既存の助成制度の情報発信を行うほか、必要な支援策について検討してまいります。				○
142	計画全体	計画全体		今の地球の状態をもっと人々に伝えていかないと、動かないと思う。	いただいたご意見を参考とし、市民の皆さんにご理解いただけるよう、効果的な情報発信の内容や手法等を検討してまいります。			○	
143	進捗指標	個別事業等への提案		市民(民生家庭部門)を減らすには、例えば①自家用車1kmを自転車に変更した際のCO2削減量、②70万人で除した際の1人あたり削減目標など、具体的な数値が見えなければ、納得性をもって行動が出来ないと思う。	いただいたご意見を参考とし、市民の皆さんの意識の向上、行動変容のために必要な施策について検討してまいります。			○	

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
144	その他	目標数値への意見		取組方針に取組事例があげられ、削減目標が計算されているのであれば、各項目別の推進(実施)割合を確認してみたい。	計画の進捗管理において、市民の皆さんにご理解いただけるよう実績の公表に努めてまいります。			○	
145	その他	取組への疑義・反対意見		本アンケートは個人向けであり、排出量割合の多い産業部門の意見をどのように反映させるか疑問に感じた。	計画の策定においては、事業者、市民団体、行政等の委員で組織する「脱炭素社会に向けた官民連携会議」や、市の附属機関である「静岡市環境審議会」に諮り、多様なご意見をいただいて計画案に反映させている。産業部門に属する委員もいらっしゃるため、各々の立場のご意見をいただいているものと考えています。			○	
146	取組の提案	個別事業等への提案		技術革新や新たな取組なども必要ですが、現実ではエネルギー消費を減らす不便を受け入れることが必要になってくるので、この点における啓蒙活動も必要だと思います。	技術革新により省エネルギー性能が高い一方で本来の機能が失われない、または向上する機器が開発されています。このような機器の普及をはじめ、脱炭素ライフスタイルに関する情報発信に努めてまいります。			○	
147	取組の提案	個別事業等への提案		災害対策の話になってしまいますが、先日の断水の際、何も備えをしていなかった人が思いのほか多数いてそれなりに苦情を言っていました。電源遮断の災害が発生したら同様の状況になるので、モバイルバッテリーなど最低限の備えを周知したり、公民館などでの非常用給電設備の拡充なども必要かと思えます。	適応策編において、気候変動への適応に向けた取組を掲載しています。いただいたご意見を参考とし、関係部局と必要な施策について検討してまいります。			○	
148	計画全体	取組への疑義・反対意見		促進区域は簡単に設置できるものなのか。設置するために地域の理解や基準の設定が必要になるのでは。	県からの基準が示されていないことも踏まえ、設定に向けた考え方等を示すにとどめます。		○		

意見番号	大項目	中項目	小項目	意見	ご意見に対する市の考え方	A:計画に盛り込み済	B:計画に反映する	C:今後の取組の参考	D:その他
149	計画全体	取組への疑義・反対意見		再生可能エネルギーは増やしていかなければいけないことは理解できるが、計画にある数字は正しいのか。	再生可能エネルギーの導入目標について、既存の設備や今後の計画を精査し、適正な目標を設定します。		○		
150	掲載文の修正等	個別文言への意見		社会の流れとして、環境に対する取組を推進していて、数字目標の達成が必要があることはわかるが、個人として取り組む内容の記載がほとんどなく、方法等も不明確	「市民・事業者の取組内容」を「市民・事業者が行うこと」に修正します。		○		
151	取組の提案	個別事業等への提案		市民として恩恵が大きいのは、リーディングプロジェクトの公共交通機関の活用促進とグリーン産業の創出(人口・経済的に)だと思うため、補助等を実施しやすくなる仕掛けがあると良い。	いただいたご意見を参考とし、リーディングプロジェクトを着実に推進するとともに、必要な支援策について検討してまいります。			○	
152	掲載文の修正等	個別文言への意見	計画全体	県の目標・計画、市の目標・計画の違いがわからない。企業が意識すべきものなのか、市民のものなのか、市職員のものなのかわからない。	県・市の計画は、法律や国の計画に基づき、脱炭素社会の実現という目標に向け、地域の課題・特性などを踏まえながら策定しています。県と市の計画では、それぞれが抱える課題を解決しながら脱炭素社会の実現を目指すものとなります。また、本市の計画では、市民・事業者が取り組むこと、行政が取り組むこととして取組内容を分けて記載し、ご理解いただけるよう努めております。	○			
153	取組の提案	個別事業等への提案		達成すると何かよいこと、リターンがあるというわかりやすいゴールがあるとよい。	いただいたご意見を参考とし、市民・事業者に脱炭素化の必要性や意義をご理解いただけるよう、情報発信に努めてまいります。			○	
154	掲載文の修正等	個別文言への意見		第3次計画を誰に対して共感したいのかによって書き方が変わる。企業人として、又は行政として進めるべき項目、内容としてはわかるが、市民の1人としてこの計画を見たときに、どう行動してよいかかわかりづらいと思う。	「市民・事業者の取組内容」を「市民・事業者が行うこと」に修正します。		○		
155	取組の提案	個別事業等への提案		環境への対応はもちろんのこと、「環境」×「○○」、例えば街づくり、経済、人づくりとして掛け算でとらえ、他の地域と一線を画す取組を企業と実行されることを期待する。	同時期に策定を進めている「静岡市環境基本計画」では、経済・社会・環境の三側面の好循環を生み出すことを大きなテーマとしておりますが、いただいたご意見を参考とし、公民連携による脱炭素社会の実現に向けた取組を推進していくよう努めてまいります。			○	
156	計画全体	計画全体		市民の努力ももちろんだが、官民一体となったまちづくり	いただいたご意見を参考とし、市民・事業者・行政が連携して脱炭素社会の実現に向けた取組を推進していくよう努めてまいります。			○	
						33	10	94	36